

東京くっちゃん会 第5回総会のご案内

日時：2015年11月21日（土）12時～15時
（受付11時半より）

場所：BEER STATION恵比寿（エビスガーデンプレイス内 JR恵比寿駅東口、地下鉄日比谷線恵比寿駅1番出口から動く歩道使用で徒歩8分（地図参照））

参加費：6,000円（会費込7,000円）

返信はがき締切：10月20日



今こそかけがえのない
ふるさととの交流を！

今年は戦後70年という節目にあたり、マスコミにも戦争前後の貴重な記録が報道されました。後一年、終戦遅れていたら、ふるさとにも戦火に会いさらに多くの犠牲者が出たのではと震えを禁じえません。今日いつでも自然の恵があふれるふるさとを訪問できる幸せを噛み締めたいものです。町では夏季にもロングステイする観光客も年々増加しているとのこと、来春には函館まで新幹線が開通し、観光に力を入れるふるさと

を注目して行きたいと思えます。

「東京くっちゃん会」は、設立5年目を迎える総会を上記のように開催いたします。あなた様のご参加をお待ちしています。10月20日までにご返信をお願いいたします。

また10月2日から4日まで開催される北海道ふるさと連合会主催の「北海道産直フェア」のご案内を同封いたしましたのでお出かけください。総会では、町の将来の話は大いに語りあおうではありませんか。当日は俱知安町から西江栄二新町長を始め町議員の皆様が多数参加される予定です。

今年も大好評でした！ 秋の東京湾屋形船クルージング

会員の親睦と地域社会の皆さんとの結びつきを広げるため、今年も東京湾クルーズを行いました。9月7日 中秋（白露）を翌日に控えた夕暮れ時、泰明大橋より屋形船を貸切で出港。東京湾



からレインボウブリッジを潜り抜けお台場に到着。煌めく夜景を楽しみながら築地仕込の料理の数々を堪能する宴席となりました。90歳の長老、西村博様には乾杯の音頭もお願いしました。帰路は恒例の歌合戦、親睦に和を添えました。今回は会員の皆さん、そして神奈川、埼玉、千葉からも、総勢25人の参加となりました。



東京くっちゃん会 ニュース

東京くっちゃん会事務所：〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸二丁目9番
40号 銀洋ビル902 あすか会電話 045-322-1888 <http://t-kcn.com/>

2015年秋号

- 1 p 第3回ふるさと訪問記
- 2 p ”
- 3 p 北海道新幹線開業に向けて
- 4 p 第5回総会のご案内

2015年9月24日撮影

今年の異常な暑さの夏も過ぎ、いつの間にか秋らしさが色濃くなってきました。皆さま方にはお変わりなく、お元気でお過ごしてでしょうか。恒例の「ふるさと訪問ツアー」も今年で3回目となりました。（今年の冬の訪問を含めると4回目です。）町をあげての「じゃが祭り」では1000人踊りに参加、そしてオプションで、マッサンの里「ニッカウイスキー余市工場」見学、寿都町見学と盛り沢山のツアーでした。

第3回 ふるさと訪問記 (7/31-8/3)

副会長 大石義勝

7月31日の早朝に羽田を発って、小樽経由で広大な敷地に点在する余市ニッカ工場を見学。昭和の初期に竹鶴政孝氏が熱い開拓者魂で挑んだ蒸溜技術・資金調達・関係者との葛藤など、計り知れないエネルギーを費やしたことなどを創造するに、無から有をなすことの大変さと、地域社会への貢献の意義について深く胸を打たれました。

今、地域活性化には、マッサンのような志を持った若手の事業家が強く望まれます。（次ページに続く）



俱知安駅前 啄木歌碑前で



農高ビアパーティーで
卒業生歌手、椋さん



寿都町弁慶岬で



余市町ニッカ工場で



■31日午後は、俱知安町役場を訪問、西江町長、鈴木町議会議長をはじめ多くの職員方々に迎えられて暫し懇談。町長から改選による新体制での町政への取り組みについて説明があり、農業、商店街の活性化など活発な意見交換がされました。

夜は農高OBビアパーティに参加、高校OBの白樺会とは違った若さのエネルギーを感じました。宿泊は、いつもの「ホテルようてい」にお世話になりました。

■8月1日は海の幸を提供してくれる近隣の町、寿都町を訪問。新鮮な魚介類で昼食を堪能しました。又、社団法人 寿都観光物産協会 寺門隆次会長にお会いでき、互いに共同して特産品の開発でコラボのきっかけになればと期待しています。宿泊は、蘭越町の昆布川温泉「幽泉閣」。設備も

湯も最高でした。

■8月2日は昆布川温泉から俱知安町へ移動。「ホテルようてい」の庭でジנגスカン昼食。いつもながら期待通りの美味でした。



そして、夕方になっていよいよビッグイベントの「じゃが祭り」1000人踊りにハッピーを着て参加、沿道の人達も昨年より多く感じましたが何万人だったでしょうか。幼いころ唯一の楽しみだった「金比羅祭り」から様変わりな参加型イベント「じゃが祭り」は、近隣町村を含めた年に一度の楽しみとして益々、発展されますよう願わずにはいれません。

終了後は、柳沢室長の計らいで役場主催の懇親会をご用意いただき、町長、町議の皆さんと

親しく、ともに俱知安町の将来について懇談させていただきました。ありがとうございました。宿泊は「ホテルようてい」にお世話になりました。

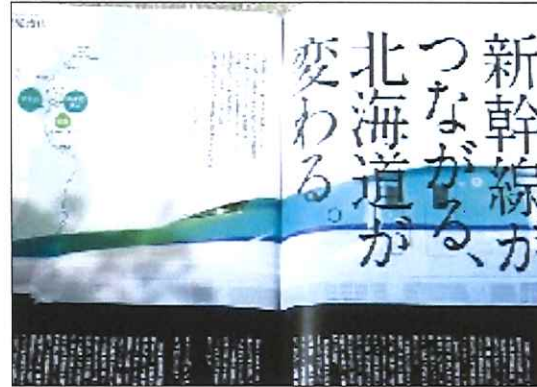
■8月3日、いよいよ現地解散の日となりました。盛り沢山だった今年の「ふるさと訪問ツアー」を振り返りながら朝食を戴き、久々に癒され、気だるさも感じながら、「来年も参加しよう」を合言葉に解散しました。

特集!

ふるさと倶知安だより



模索する新幹線効果呼び込み策



5月、5月半中継中!

↑北海道新幹線昆布トンネル (桂台) 便り第2号より

←「HOKKAIDO MAGAZINE JP01 Vol6」より

■来年3月26日に営業開始が決定した北海道新幹線。東京から北海道「新函館北斗」まで乗り換えなしでつながります。北海道の行政も業界も「50年間の悲願」が目の前に迫ったとして、大いに湧いており、マスコミも関連の報道が増えています。多くは、もたらされるメリットに焦点をあてて、様々な期待を込めた取り組みを紹介するものです。

■ニセコ・倶知安エリアでも、そのメリットや効果をどう自分たちの地域に現実化するのかという試行錯誤が始まっています。函館と札幌を特急で結ぶJR北海道

の試み(期間限定)、函館—ニセコ—俱知安の「都市間高速バスしりべし号」の試験運行、そして道の「北海道新幹線二次交通等整備事業」の一環として「しりべし路線バスの旅」(3つのモデルコース)の試験発売です。

■今年から、札幌延伸に向けての昆布トンネル工事(10,410m)がニセコと昆布で始まっています。札幌まで早く繋がってほしいという声と同時に、並行在来線はJR北海道の経営から外されるという大問題を突きつけられるという現実も迫っています。

各パンフレットで
取り組みをPRして
いる→

